

高等学校国語科学習指導案

単元名：論理性の評価

指導者：広島県立高陽東高等学校 横田 智佳

- 1 日 時 : 平成25年7月10日～平成25年7月18日
- 2 対 象 : 2年1組(男子13名・女子27名 計40名)
3組(男子13名・女子26名 計39名)
- 3 科 目 : 現代文
- 4 単元名 : 論理性の評価
教材：「『未成熟』が人間を作った」 山極寿一（「新編現代文」東京書籍）
新聞・投書記事

1 単 元 観

本単元は、高等学校学習指導要領国語（平成21年）の「現代文B」の指導事項「ア 文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価すること。」を受けて設定した。本単元では、批判的思考のスキルの習得を通し、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉え、その論理性を評価することをねらいとする。

教材文「『未成熟』が人間を作った」は、類人猿と人間の成熟過程を比較することによって、人間の未成熟が人間社会の発展と成熟をもたらしたことを述べている。主張と例証がはっきりと分かれている構成であるため、論理的文章の構成を理解する点において適切であり、生徒が論理性の評価を通して論理的思考力を培うのにふさわしい教材であると考えられる。

また、実用的な文章である新聞の投書記事においても、その論理性を評価することによって、評価する力を実社会で活用できる力にまで高めることができると考える。

2 生 徒 観

授業に先立って実施したプレテストにおいて、二つの文章を比較させ、どちらの文章がより説得力があるかを理由も併せて記述させた。論理の整っている文章を正しく選択できた生徒は83.8%と多かった。しかし、その文章を選んだ理由を見ると、具体的な根拠はなく主観で判断している生徒が58.1%と数多くおり、意見の根拠の客観性について言及している生徒は18.9%しかいなかった。このことから、生徒は文章を読む際に、自分の主観で文章の論理性を評価していることが分かる。したがって、客観的な根拠をもって評価できる力を生徒に育成していくことが、課題であるといえる。

3 指 導 観

指導に当たっては、批判的思考のスキルの習得を通し、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉え、その論理性を評価することができるように、次の3点を工夫する。

1点目は、批判的思考のスキルの習得が効率的にできるよう、ワークシートを使用する点である。ワークシートでは、論理性を評価する際の観点を整理し、学力に課題のある生徒も円滑に学習が進められるよう評価の観点を表にしたり、記述の書き出しを指定したりする工夫をした。

2点目は、ワークシートにある発問や表を単純化している点である。このことにより、習得する批判的思考のスキルに汎用性を持たせることができると考える。

3点目は、論理性を評価する学習活動を段階的に繰り返すことである。スキルを習得しながら論理性を評価する力を身に付けていくため、まず、教科書に掲載された論理が明確な文章において、筆者が論理の上でどのような工夫をしているかを評価する学習活動を行う。次に、その文章を通して学んだ論理を基に、新聞の投書記事で論理性を評価する学習活動を2回重ねる。評価を繰り返すことで、批判的思考がより一層働き、それぞれの意見を客観的、多面的に捉え、その確かさや書き手の表現意図を見抜き、的確な評価ができると考える。

4 単元の目標と評価規準

単元の目標

- (1) 筆者の考えの筋道の通し方に着目し、文章の論理性を評価しようとしている。〔関心・意欲・態度〕
- (2) 批判的思考のスキルを使って、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉え、その論理性を評価する。
〔C読むこと ア〕
- (3) 言葉や表現の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 オ〕

単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元を貫く言語活動		
論理的な文章を読んで書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと（言語活動事例イ）		
批判的思考のスキルを働かせてそれぞれの文章の論理性を評価しようとしている。	批判的思考のスキルを使って、文章の構成、展開、要旨などを的確に読み取り、その論理性を評価している。	ワークシートへの記入を通して、言葉や表現の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

5 単元を貫く言語活動の特徴

単元を貫く言語活動として、「論理的な文章を読んで書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと」を設定する。この活動は、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉え、その論理性を評価する力を育てることにつながるものである。まず、教科書に掲載された論理が明確な文章において、筆者が論理の上でどのような工夫をしているかを評価し、評価をする際の観点を整理することを通して、論理性を評価するとはどういうことかについて理解する。その後、教科書の文章を通して学んだ論理を基に、実用的な文章で批判的思考のスキルを使って論理性を評価する練習を重ねる。これらの活動を通して、文章の論理性を評価する力を育成することを目指す。

6 指導と評価の計画

全5時間（本時は5／5）

次	時	学習活動	評 価				評価方法
			関	読	言	評価規準	
一	1	○ 教科書「『未成熟』が人間を作った」 ・各形式段落の中心となっている文の位置から文章全体の中心となっている段落を探す。 ・キーワードの意味の確認など、筆者の意見の中心となっている一文を分析し、その意見の根拠を明らかにする。		○		中心となる一文の内容を的確に読み取り、書き手の表現意図を捉えることができる。	行動観察 ワークシート

	2	○ 教科書「『未成熟』が人間を作った」 ・文章全体を通読する。 ・批判的思考のスキルによって論理性の評価をしていくことを学習する。 ・筆者の意見とその根拠とのつながりを確認する。		○	文章を構造的に読み取り、意見とその根拠とのつながりに対する答えを文章中の表現に即してまとめることができる。	行動観察 ワークシート
	3	○ 教科書「『未成熟』が人間を作った」 ・表現の仕方の工夫を整理し、その工夫から生まれる効果について学習する。 ・筆者の主張や論の展開の仕方の特徴をまとめる。 ・論理性の評価とはどういうことかを理解する。		◎ ○	言葉や表現の特徴やきまりなどから文章を客観的に捉え、論理性の評価についての理解を深めることができる。	発表 ワークシート
二	4	○新聞記事（投書記事） ・記事の疑問点、問題点を挙げる。 ・ワークシートにある観点に沿って論理性の評価をする	○	◎	文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価している。 批判的思考のスキルを使って文章を評価しようとしている。	行動観察 発表
	5	○新聞記事（投書記事） ・2回目の論理性の評価をする。 ・観点に沿って行った論理性の評価の結果をまとめ、記述する。 (本時)		○	批判的思考のスキルを使って文章の構成、展開、要旨などを的確に読み取り、その論理性を評価することができる。	行動観察 ワークシート

7 本 時 の 展 開

(1) 本時の目標

同じテーマについて書かれている二つの新聞記事を比較する中で、文章の構成、展開、要旨などを的確に読み取り、その論理性を評価することができる。

(2) 観点別評価規準

批判的思考のスキルを使って文章の内容や表現の仕方について評価し、筆者の主張が確実な根拠に基づいた妥当な推論であるかを読み取っている。【読む能力】

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意点 (○) 配慮を要する生徒への支援 (◆)	評価規準 (評価方法)
導 入 5 分	前時の確認をする。 本時の目標を明示する。	○ 1回目の評価の際、文章に対する疑問点が評価に反映しているかについて確認させる。 ○ 2回目の評価を行ってから、論理性の評価を文章にまとめることを伝える。	

展開 40分	新聞記事を音読する。 グループでの交流を基に、2回目の評価をする。 論理性の評価をワークシートに記述しまとめる。	○前時に挙げた疑問点から、長嶋氏の選手としての実績に注目することを伝え、どちらの投書記事が氏の実績についてより具体的に述べられているかを意識して再読するよう指示する。 ○各自の1回目の評価について、グループで交流する。その際、評価の理由を文章の記述に求めることを指示する。 ◆長嶋氏の選手としての具体的な実績が分かる記述に下線を引かせる。 ◆野球や長嶋氏の活躍についての知識がない人がでも論の展開を捉えやすい意見は、A・Bどちらの文章であるかを考えさせる。 ○指定した書き出しの空欄に言葉を入れさせ、論理性の評価から記述がずれることのないよう指示する。 ◆自己の評価の根拠について、A・B両方の記述がどうなっているかをメモ書きによって整理してから記述させる。	批判的思考のスキルを使って文章の構成、展開、要旨などを的確に読み取り、その論理性を評価することができている。 (行動観察・ワークシート)
まとめ 5分	本時のまとめをする。	○論理性を評価することにより、文章の内容や表現を的確に捉えることができ、そのためには、批判的思考の習得が有効であったことを確認する。	

8 ワークシート（例）

(1) 教科書「『未成熟』が人間を作った」を評価するためのワークシート

答え	【ステップ2】根拠を説明する。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="379 1413 472 1541">言葉</td> <td data-bbox="472 1413 564 1541"></td> <td data-bbox="564 1413 614 1541"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1541 472 1805">具体的内容</td> <td data-bbox="472 1541 564 1805"></td> <td data-bbox="564 1541 614 1805"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1805 472 2080">具体的内容の保持によって得られたもの</td> <td data-bbox="472 1805 564 2080"></td> <td data-bbox="564 1805 614 2080"></td> </tr> </table>	言葉			具体的内容			具体的内容の保持によって得られたもの			問い なぜか （ ） （ ）	根拠 ②筆者の意見の中心となる一文の根拠を明らかにしよう。	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="858 1413 884 2080">心（遊び）</td> <td data-bbox="884 1413 909 2080">6</td> <td data-bbox="909 1413 935 2080">人間社会の成熟は、未成熟な体と対照的に、固執するのではなくて柔軟な心で対応する必要がある。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="935 1413 960 2080">5</td> <td data-bbox="960 1413 986 2080">人間を人間らしめる文化の多様性は、未成熟な行動様式があるからこそ、大人の社会行動に引き継がれている。</td> <td data-bbox="986 1413 1011 2080">4</td> <td data-bbox="1011 1413 1037 2080">遊びは、ネオテニーによる子どもの行動特徴を成熟後も保持し続ける例と考えられ、多様な行動や社会関係の維持に必要である。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1037 1413 1062 2080">3</td> <td data-bbox="1062 1413 1088 2080">人間は特殊な発達した能力を必要とする。多様な文化や社会の発展は、多様な能力を必要とする。</td> <td data-bbox="1088 1413 1114 2080">2</td> <td data-bbox="1114 1413 1139 2080">成長期を終了してからは、人間は多様な能力を必要とする。多様な能力を必要とする。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1139 1413 1165 2080">1</td> <td data-bbox="1165 1413 1190 2080">つまり、人類は多様な能力を必要とする。多様な能力を必要とする。</td> <td data-bbox="1190 1413 1214 2080">段落</td> <td data-bbox="1214 1413 1240 2080">段落の中心となる一文</td> </tr> </table>	心（遊び）	6	人間社会の成熟は、未成熟な体と対照的に、固執するのではなくて柔軟な心で対応する必要がある。	5	人間を人間らしめる文化の多様性は、未成熟な行動様式があるからこそ、大人の社会行動に引き継がれている。	4	遊びは、ネオテニーによる子どもの行動特徴を成熟後も保持し続ける例と考えられ、多様な行動や社会関係の維持に必要である。	3	人間は特殊な発達した能力を必要とする。多様な文化や社会の発展は、多様な能力を必要とする。	2	成長期を終了してからは、人間は多様な能力を必要とする。多様な能力を必要とする。	1	つまり、人類は多様な能力を必要とする。多様な能力を必要とする。	段落	段落の中心となる一文	①各段落における中心となる一文の位置や特徴には共通点がありました。この点から、文章全体の中心となる段落はどれかと考えますか。段落番号に○をふちまきしょう。 主題の把握 「未成熟」が人間を作った・ワークシート 目標…文章の論理性を評価しよう。 (組) (番)
言葉																													
具体的内容																													
具体的内容の保持によって得られたもの																													
心（遊び）	6	人間社会の成熟は、未成熟な体と対照的に、固執するのではなくて柔軟な心で対応する必要がある。																											
5	人間を人間らしめる文化の多様性は、未成熟な行動様式があるからこそ、大人の社会行動に引き継がれている。	4	遊びは、ネオテニーによる子どもの行動特徴を成熟後も保持し続ける例と考えられ、多様な行動や社会関係の維持に必要である。																										
3	人間は特殊な発達した能力を必要とする。多様な文化や社会の発展は、多様な能力を必要とする。	2	成長期を終了してからは、人間は多様な能力を必要とする。多様な能力を必要とする。																										
1	つまり、人類は多様な能力を必要とする。多様な能力を必要とする。	段落	段落の中心となる一文																										

■ここからは文章全体を眺んで答えましょう。

【ステップ3】意見と根拠のつながりを確認する。

ステップ3の意見に対する「なぜ」	答え
なぜ（	
（	
（	

表現の工夫

③筆者は自己の意見やその根拠に説得力を持たせるためにどのような工夫をしており、その工夫点によってどのような効果が生まれていますか。

観点	工夫点の具体	効果
比較	（ ）と（ ）の比較	
具体性	具体例として（ ）の提示	
引用	（ ）の引用	
反証		

まとめ

④この文章の論理性を評価してみよう。

人間と類人猿を[]として人間の特徴を[]し、ネオテニー（幼形成熟）の[]を体と心の両面から挙げることによって、『未成熟』が人間社会の成熟をもたらしたという意見を分かりやすく説明している。また、学者の説を[]することによって自己の意見の補強を図っている。そして、人間社会の成熟が達成されたのは、人間がネオテニーによって多様性、許容力、好奇心を増大・維持し、進化や文化の多様性を導いたことができたからであるというように、[]と[]のつながりを丁寧に説明することによって、筆者の主張の[]を高めている。

（2）新聞の当初記事を評価するためのワークシート

新聞・投書欄の論理性を評価しよう

（ ）組（ ）番（ ）

■次の文は、長嶋茂雄氏の国民栄誉賞受賞に関わる新聞への投書記事です。それぞれを読み、受賞に関わる意見に当たる部分に線を引いてみましょう。

Aさん（朝日新聞・平成25年5月16日付）	Bさん（中国新聞・平成25年5月9日付）
新聞・投書記事より引用 他の選手と現役時代の実績を比較した上で、長嶋氏の受賞を「釈然としない」と述べている投書をAとし、「粋な計らいで納得」という立場で氏にまつわる様々な思い出を、国民栄誉賞受賞と関係のないものも併せて述べている投書をBとした。	

■上記の文章を読んで、疑問に思ったこと、納得いかないことをあげてみよう。

.....

.....

.....

.....

■どちらの文章の方が、より説得力がありますか。理由もあわせて説明しなさい。

二つの意見文のうち、より説得力があるのは[]の文章です。その理由は、[]つあります。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

■上記の文章を次の観点に従って○・△・×で評価してみよう。

観 点	A		B	
	1回目	2回目	1回目	2回目
一つの意見をはっきりと述べている				
意見の根拠を述べている				
意見の根拠に客観性（説得力）がある				
具体例を用いて説明している				
他の意見について触れている				
他の意見に対する反論がある				
比較・対比によって意見を導き出している				
論に一貫性がある（矛盾・飛躍がない）				

評価基準
○・・・非常に説得力がある
△・・・やや説得力がある
×・・・説得力がない